

# 高すぎる国民健康保険料の 引き下げを求める請願

## 【請願趣旨】

「国民健康保険料」を払える額に引き下げてください。

いま、全国の多くの市町村では国民健康保険料が引き上げられていますが、岡山市は、2020年度から2023年度まで4年連続して国民健康保険料を据え置いています。このことは評価できますが、求められているのは、「払える額に引き下げる」ことです。一般会計から繰り入れを行うなどして、保険料を引き下げるべきです。

また、2022年から国が小学生未満の子どもの均等割を半額にしましたが、そもそも子どもの人数が増えるほど保険料負担が増えるのは、少子化対策に逆行しています。岡山市の独自判断で、子どもの均等割も全額免除にしていくべきです。

今、様々な物価が高騰する中で、高すぎる国民健康保険料の引き下げを求める市民の声は、切実です。いまこそ、高すぎる国保料を引き下げてください。

## 【請願事項】

一、高すぎる国民健康保険料を引き下げてください。

氏 名	住 所

(住所・名前など個人情報情報は目的以外には使用しません。)

連  
絡  
先

岡山市社会保障推進協議会

〒700-0905 岡山市北区春日町 5-6 県労おかやま内 ☎086-234-2041

取扱い団体：

# 高すぎる国保料の 引き下げを

## 払える保険料に

同じ収入（年収約370万円）でも保険料はサラリーマンなどの健康保険なら約21万円。これが国保だと倍以上です。（右図）

そのため、岡山市の国保でも8世帯に1世帯が保険料を滞納しています。ただちに、払える保険料に引き下げるべきです。

同じ所得でも  
「倍以上」の負担



## 物価高、市民の負担軽減を



食料品や生活用品、電気やガス代など、生活に必要なものやサービスの値段がどんどん上がっています。市民の暮らしは大変です。市が、市民の負担軽減に力を尽くすことが強く求められています。

## 「健康保険証の廃止」をやめて

政府は、来年秋に保険証を廃止してマイナ保険証に一本化することを狙っています。しかし、各地でさまざまなトラブルが頻発しているにも関わらず、原因究明も対策も不十分です。世論調査でも「延期」「撤回」すべきとの声が圧倒的です。「命のパスポート」である健康保険証の廃止はあり得ません。全国の自治体からも声が上がっています。岡山市も国に延期や中止を求めるべきです。

連絡先

岡山市社会保障推進協議会

岡山市北区春日町 5-6 勤労者福祉センター 3F  
県労おかやま内 TEL(086)234-2041